

消防年報 2017

平成 29 年版



埼玉西部消防局

表紙の写真

「飯能日高消防署稲荷分署」 (左上)

飯能市の中心地域を守る重要な防災拠点として、現在地での建替え工事を 2 か年計画で進めていた飯能日高消防署稲荷分署が開署しました。

「自家給油施設」 (左下)

大規模災害発生時にガソリンや軽油の供給が途絶えても、消防・救急活動を継続して維持できるよう、消防車両などに安定した燃料の供給を確保するため、飯能日高消防署にガソリン、軽油各 10 kℓ の貯蔵量を持つ自家給油施設を整備しました。

「小型動力ポンプ付水槽車」 (右上)

平成 28 年度に飯能日高消防署に配備した小型動力ポンプ付水槽車 (水槽容量 10 t)

「飛行場外離着陸場」 (右下)

飯能日高消防署の消防防災訓練場は、大規模災害が発生した場合に緊急消防援助隊の集結場所として指定されているほか、防災ヘリコプターをはじめとする災害対応ヘリコプターの飛行場外離着陸場として指定されています。

平成 8 年 4 月庁舎竣工時に整備された消防防災訓練場の人工芝を撤去し、高填圧透水性アスファルト舗装 (新規舗装面積 5,030 m²) にて、大型ヘリコプター及び大型車両の進入に適した飛行場外離着陸場を整備しました。

裏表紙の写真

「埼玉西部消防局エンブレム」

中央の消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱を配置したものです。また、消防章を囲む 5 本の炎は、組合発足時の構成 5 市 (所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市) による消防の任務に対する情熱、熱意、調和、団結を表しています。